

第17回 亜鉛ダイカスト年間講演会報告

日本鋳業協会 鉛亜鉛需要開発センター

2017年は3年に一度の「亜鉛ダイカスト年間」にあたり、年間スローガンとして「亜鉛ダイカスト 知恵と工夫で 時代に挑め」と題し活動してきました。その一環として、昨年11月28日(火)機械振興会館において、(一社)日本ダイカスト協会との共催で第17回亜鉛ダイカスト年間大会講演会を開催しました。

この講演会は、ダイカスト用亜鉛合金・亜鉛ダイカスト製品の需要拡大、及び亜鉛ダイカスト技術の向上を目的に始められたものであり今回で17回目となります。

はじめに主催者代表の日本鋳業協会 加藤専務理事(築城センター長代読)は「日本のダイカスト産業は自動車産業の発展とともに成長したが、主流はアルミダイカストであり、亜鉛ダイカストは軽量化の流れにさらされ減少の一途をたどり2016年はついに2万トン割ってしまった。

しかし、亜鉛ダイカストには寸法精度、耐食性、めっき性など優れた点が多くあり、近年は「急冷凝固による強度を向上させた亜鉛ダイカストの開発」に注力しており薄肉で軽量、製造コストも安価を実現でき、この成果が亜鉛ダイカストの需要拡大に繋がることを期待している」と述べた。

また、来賓の経済産業省 製造産業局 素形材産業室の岡本室長は、「ダイカスト業界は、自動車を中心に幅広い分野で必要不可欠な基盤として我が国の経済活動に大いなる貢献を果たしている。リーマンショックで生産量は落ちたものの、現在は再び回復し、重要基盤産業の一つとして発展している。亜鉛ダイカストは優れた性質を持っており、複雑な形状や複数部品の一体化など大きな可能性を通じて新分野の開拓にも積極的な挑戦をして頂きたい。本日も多くの研究成果の講演が予定



されているが、今後の亜鉛ダイカスト業の発展に必要な不可欠と思われ、我が国の亜鉛ダイカスト業のさらなる技術力向上に寄与し、業界発展の好機となることを期待している」と述べられた。

講演会では、三井金属鋳業(株)より「亜鉛地金の需給動向について」をはじめ、合計10件の講演が行われました。

最後に、日本ダイカスト協会の江口専務理事より「今回の講演会は例年よりも講演数を増加しました。亜鉛ダイカストの技術向上、需要拡大を目的として活動するなかで、亜鉛ダイカストの生産量はダイカスト全体からは少ないが、依然として特性の優位性などから需要がまだまだあります。引き続き技術開発、商品開発にご尽力頂き、また次回3年後のこの場でご報告頂ければありがたいと思います」との閉会の言葉を以って本会を終了しました。

ご多忙の中、ご講演頂きました方々、本講演会にご参加の皆様、ご協力頂きました関係各位に厚く御礼申し上げます。

開催日時

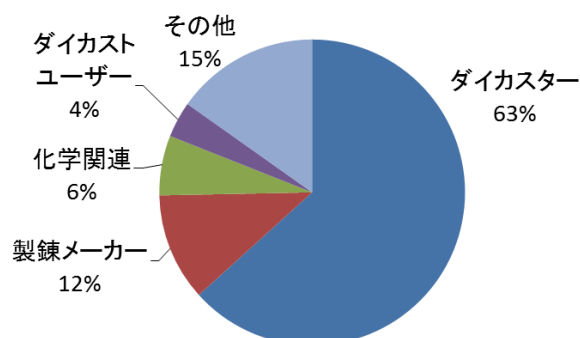
日時 平成 29 年 11 月 28 日 (火) 10:00~17:00
 場所 機械振興会館 (東京都港区芝公園 3-5-8) ホール
 共催 (一社)日本ダイカスト協会、日本鋳業協会鉛亜鉛需要開発センター

大会次第

- | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|-------|
| 1. 開会の辞 | 日本鋳業協会 理事 鉛亜鉛需要開発センター長 | 築城 修治 |
| 2. 主催者代表挨拶 | 日本鋳業協会 専務理事 | 加藤 元彦 |
| 3. 来賓ご挨拶 | 経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長 | 岡本 繁樹 |
| 4. 講演 | | |
| (1) 亜鉛地金の需給動向について | 三井金属鋳業(株)金属事業部 金属営業部 部長 | 菅原 健二 |
| (2) 亜鉛合金ダイカストの欠陥の解析事例と対策の考え方 | サトウ鑄造技術研究所 所長 工学博士 | 佐藤 健二 |
| (3) 亜鉛合金ダイカストにおける粒間腐食について | (一社)日本ダイカスト協会 技術部 部長 | 渡邊 一彦 |
| (4) 亜鉛合金ダイカスト用金型に於ける表面改質の適応と製品品質改善 | (株)エーケーダイカスト工業所 技術部 課長 | 河田 潤 |
| (5) 亜鉛合金ダイカストにおける焼付きの原因と進展メカニズム | YKK(株) 工機技術本部 分析・解析センター PJ 担当 | 水林 舞 |
| (6) ミニカーの歴史から紐解く、ダイカスト技術 | (株)秋葉ダイカスト工業所 事業管理部 部長 | 森川 隆志 |
| (7) 亜鉛用パーティング射出ホットチャンバーダイカストマシンと自動化設備 | (株)ヒシヌママシナリー 取締役 サービス部部长 | 菱沼 慎介 |
| (8) 亜鉛合金ダイカストの亜鉛ドロス再生について | (株)ホンダロック 開発本部 生産技術部 技術主任 | 銀島 次男 |
| (9) 建築用錠前における亜鉛ダイカストの適用例 | 美和ロック(株)盛岡工場 生産技術課 課長 | 北方 秀和 |
| (10) 亜鉛-アルミニウム-銅系ダイカストのマイクロ組織と機械的性質 | ものづくり大学 技能工芸学部 製造学科 教授 工学博士 | 西 直美 |
| 5. 閉会の辞 | 一般社団法人 日本ダイカスト協会 専務理事 | 江口 信彦 |

●今回の参加者の内訳は以下の通りです。

分類	参加人数 (名)
ダイカスター*	50
製錬メーカー	9
化学関連	5
ダイカストユーザー	3
その他 (官庁・団体他)	12
合計	79



※機械、金型を含む